

2026 年の動向

“エネルギー争奪戦の時代—世界は何を奪い合っているのか”

(株) ジョンクエルコンサルティング 落合以臣

“The New Energy Race — What Is the World Really Competing For?”

Shigemi Ochiai, Jonquil Consulting Inc.

The New Energy Race

The world is entering a new era of energy competition. This is no longer simply a contest over oil, gas, or electricity. It is a competition to secure the energy systems that will support future economic growth, industrial development, and technological advancement. The rapid expansion of artificial intelligence, data centres, electrified manufacturing, and digital infrastructure is driving unprecedented growth in global energy demand. At the same time, geopolitical uncertainty has elevated energy security from a policy concern to a strategic imperative. LNG trade reached record levels in 2025, while investment in gas infrastructure, power networks, storage, and alternative energy sources continues to accelerate.

In this environment, the question is no longer which energy source will prevail. The more important question is which nations can build resilient, flexible, and secure energy systems capable of sustaining long-term growth. Oil, natural gas, renewables, nuclear power, and storage technologies are increasingly becoming complementary elements of the same objective.

The new energy race is not merely about possessing resources. It is about the ability to manage, integrate, and utilise energy effectively. In the emerging global order, competitiveness will belong not to those who simply have energy, but to those who can make the best use of it.

Energy security is becoming the foundation of economic competitiveness.

2026 年の世界を見渡すと、多くの地域で地政学的な緊張が続いていることは周知の通りです。しかしながら、現在進行している本質的な競争は、単なる領土や市場の争いではありません。各国が争っているのは、「将来の成長を支えるエネルギー」と言えます。これまでのエネルギー問題は、「石油か天然ガスか」という供給源の議論が中心でした。ところが、現在は状況が大きく変化しています。AI の急速な普及、データセンターの建設拡大、製造業の電化、電気自動車の普及などにより、世界の電力需要は再び増加局面に入りました。エネルギー安全保障が各国の重要課題となり、供給確保そのものが国家競争力を左右する時代になりつつあります。

こうした変化の中で、天然ガスおよび LNG の重要性はむしろ高まっています。国際ガス連盟 (IGU) の報告によれば、世界の LNG 取引量は 2025 年に過去最高を記録し、米国やカタールを中心とした供給拡大が進んでいます。さらに新規 LNG プロジェクトへの投資も増加し、中長期的な需要拡大が見込まれています。一方で、再生可能エネルギーも急速に拡大しています。太陽光発電や風力発電は世界各地で導入が進み、電化社会の基盤を支えています。しかしながら、安定供給を確保するためには蓄電池、送電網、天然ガス、原子力などとの組み合わせが不可欠です。エネルギー転換は進んでいますが、エネルギー安全保障の重要性も同時に高まっています。

今後のエネルギー争奪戦は、「どの燃料が勝つか」ではなく、「安定して利用できるエネルギーシステムを誰が構築できるか」という競争になるでしょう。石油、天然ガス、再生可能エネルギー、原子力、蓄電技術などが、今まで以上に中心になります。それぞれが対立する存在ではなく、国家のエネルギー安全保障を支える構成要素となるといえます。そして、もう一つ重要な視点があります。それは、エネルギーを持つ国が強いのではなく、エネルギーを使いこなす国が強い時代へ移行しているということです。

世界は今、新しいエネルギー秩序の入り口に立っています。エネルギー争奪戦とは、資源そのものを奪い合う競争ではありません。未来の産業、経済、そして国家の成長を支える力を確保するための競争なのです。